

日本福祉のまちづくり学会関西支部

第29回関西セミナーに参加して

大分県 末永 茂樹

今回、全国頸髄損傷者連絡協議会兵庫県支部ならびに大阪府支部メーリングリスト（以下、ML）の中でのML会員への呼びかけによる企画から、今回の神戸旅行が日本福祉のまちづくり学会関西支部主催によるものから始まりました。

今回の神戸ユニバーサルガイド体験を日本福祉のまちづくり学会関西支部主催のもと、貴重な体験ツアーを東京都在住の中さんと一緒に人選して頂いたことにお大変感謝しております。このセミナーのなかに、日頃旅行になかなか出かけられない重度障害者の方に神戸までの旅を体験し、そのなかでの様々なサポート体制について、また、観光地や町並みを散策して感じられたこと、ホテル滞在で感じられたこと、交通アクセスで感じられたこと、その他何でも良いから、このセミナーに対して、神戸市に対して、パネリストに対して報告・意見を出して欲しいと言う企画でした。いわゆる、ユニバーサルデザインと福祉のまちづくりの研究会と言っても過言ではないでしょう。

神戸ユニバーサルツーリズム「みんな遊びにでかけよう！」は、このセミナーで基調講演をされましたNPO法人ウィズアス代表の鞍本さんが中心になって展開されている活動内容です。様々な活動を展開されているなかでも、ユニバーサルツーリズムは一つの事業として、全国でもまれな画期的なシステムだと思いました。このシステムは、障害をもった人・高齢者の人・そのほか誰でもが活用できる「人と人とがつながりをもち、そこから温かさ・優しさ・幸せを感じられる。他の旅行会社では味わえない付加価値をつけたユニバーサルツーリズム」を体感してもらおうと言うことで「誰にでも優しいまちづくり」に大きく貢献されているのです。知らないまちに一人の重度障害者でも旅することが出来るシステムで、その人の希望にあった、その人の障害程度区分に合わせて、ユニバーサル・ツーリズムのコーディネータがすべてを手配して頂きます。

このシステムは、次の内容で成り立っています。

宿泊先（ホテルや旅館で希望する観光地等に近い場所にあり、交通のアクセスが良いこと。料金やお部屋の条件あったもの。食事の条件（きざみ食・減塩食・糖尿食・他）。

サポート体制（ガイドヘルパー・入浴・排泄・食事の各介助であり同性でおこなっている・体交や尿交や見守りに合わせた宿泊）。

交通手段の手配（リフトタクシー・福祉タクシー・観光付きタクシー・その他公共交通機関利用での日程計画）。

コンシェルジュ（案内人でしかもピア（障害者）に限る。当事者の方が同じ目線でその

方の気持ちになって合わせられる。観光地の案内・レストランやホテルの案内・車椅子トイレの案内など知らない土地での困る不安要因。高齢者や他の方は、希望に合わせられる。)

福祉機器のレンタル（電動車椅子・手動車椅子・介助用車椅子・ストレッチャー・歩行器・杖・電動ベッド・吸入器・酸素ボンベ・トーキングエイド・その他現地では、なかなか手に入れる事が困難な福祉機器や医療機器等）。

緊急時のサポート体制（車椅子の故障・吸引機の故障・病院の手配・その他）。

その他通訳など（言語・手話などの通訳、外国人に合わせた通訳）等で成り立っています。この素晴らしいユニバーサルツーリズムのシステムがあることで、一人で旅行することも可能になってくるのです。二人や中には三人がかりでの旅行していた障害者等も一人で旅することが可能になったことですね。受け入れ態勢が十分なことは、一重にこの旅行をコーディネートする方の手腕にも関わってくるのです。私の2泊3日の神戸旅行もWING KOBЕのシステムとそれに携わった人達の熱意・温もりが楽しい旅行にされてくれたものです。本当に有難うございました。神戸に限らずこのような素晴らしいユニバーサルツーリズムのシステムと人材が全国各地に誕生することを節に願っています。

私の神戸旅行の3日間を皆様に事細かく説明していきます。その中には、ハプニングも3回ありましたが、それは決して、サポート体制やシステム等ではありません。その事に関しても、追々ご説明させていただきます。

先ず、我が家から大分空港までリフトタクシーで向かいました。高速道を使って、約1時間ほどの距離です。大分県は交通のアクセスが悪いためリフトタクシーに頼るしか手段がありません。高速バスやホーバークラフト（船）がありますが、車椅子で乗ることは厳しいです。軽なので少々乗り心地は良くありませんでしたが、新車で運転手さんも慣れた方で安心して空港に無事着きました。以前から航空会社は、ANAが好きで今回も往復ANAを近くの旅行会社で手配購入していました。搭乗手続きに入りますと、ここで1回目のハプニングに遭いました。お客様でこの便に搭乗されるのが、9人目となりました。当便の障害者受け入れは、8人までとなっておりますから搭乗することが出来ません。幸先悪い旅の始まりです。ANAの説明だと、その便の客席数・搭乗する客室乗務員数によるもので、この便が8人までとなっておりますから搭乗は不可能です。と意図も簡単に告知してきたから、こちらとしても怒りが治まらない状態となってきました。伊丹空港での、約束時間に遅れる。果たしてどうしたら良いものなのか？一瞬パニックとなってしまいました。旅行会社のいい加減な販売体制とANAのいい加減なシステムのお陰で出鼻を挫かれてしまいました。急遽、JAL便に変更しましたが、サポート体制に不備があり、大分空港と伊丹空港あわせて30分ほどのロスタイムが出てしまいました。ANAの今までのイメージは何処かへ飛んでいきました。行きにあまり文句を言っても折角の旅行が台無しですから帰りに、ANAと旅行会社に対して謝罪して頂くように考えました。前途多難な旅なのか？不安が過ぎりましたが、伊丹空港で温かく出迎えてくれましたコーディネーター兼ヘルパーの野見さんとカメラマン（二人とも女性）にお会いし、今まで曇っていた表情

も一変にその時の天気と同じ様に晴々となりました。伊丹空港の搭乗ロビー建物に車椅子トイレがないことに対しても些かショックでした。大きな空港なのに建物が古いからなのかな？それでも後付でも良いから改築して欲しいものですね。

近畿タクシーのリフトで出迎えていただき、ロスもあったせいか急いで予定の場所に向けて高速を走らせました。いよいよユニバーサルガイドが始まった実感をしましたね。到着までは、野見さんとの打合せと同時にカメラが終始回っていました。

第一の観光地、王子動物園に到着してから第2段の出迎えを受けました。今回のセミナーのコーディネータの神戸芸術工科大学教授で関西セミナーの副支部長であられる相良先生と神戸市役所ユニバーサルデザイン都市推進係長の今井さん、WING KOBЕのコンシェルジュの坂田とスタッフの方達に温かく出迎えて頂きました。早速、園内を見学することになり、コンシェルジュの案内で象・パンダ・コアラ・亀を見て終わりました。久々に身近で動物を見ることが出来、とっても癒されました。ここで気づいた点は、象の周りが舗装されていなく、車椅子一人で見るとは困難だと思いました。せめて車椅子が行き来できる範囲でも良いから舗装されるとよいでしょう。パンダの係員の方は、見学者で障害者や高齢者の方がいた場合は、説明しなから優先的に前に誘導する位の配慮サービスがあっても良いのではないだろうかと思いました。あとは、グレーチング（溝の金網）の隙間が広くて、少し怖い思いをしました。電動車椅子だと大丈夫なのですが、手動車椅子だとキャスターがはまり込んで転倒の原因になってしまいます。ここは、ガイドヘルパーの介助技術が試される箇所ですね。出来れば隙間の細かいものに変えられると良いでしょう。現在は動物園離れが多いなか、この王子動物園は子供達の遠足で賑わっている光景を見て、大変微笑ましく思いました。動物たちを見て何かを感じて欲しいものだなと思いました。時間的に全部見るのは、厳しく短めで終わり、インタビューを受けて、次の目的手であるハーバーランドのモザイクへ向かいました。

神戸市の場合、全部とは言えませんが、良く歩道が整備されているなあーと思いました。車道と歩道の段差が緩くしてある優しい配慮であるなど関心しました。が、欲を言えばもう少し緩やかにも出来るなあーとも思った次第です。他の県と比較しての感想です。何気ない小さな配慮で多くの市民が安心して暮らすことが出来るから。こういった街づくりは、行政・企業・学生・一般・障害者団体等がネットワークを組み、疑似体験してみてもその人達（重度の方）の気持ちになって、初めてユニバーサルな都市が出来ることでしょう。

疑似体験は、車椅子に乗り一人で様々な箇所（グレーチング・段差・スロープ・砂利道・整備されていない歩道・食事・買物・公共交通機関の乗物など）を、また、視覚・聴覚・片麻痺者の各障害者・高齢者に変装をして街を散策して、当事者の気持ちを少しでも理解して頂き、まちづくりに取り組んで欲しいものですね。

次の目的地のハーバーランドへ到着して昼食を摂りました。車椅子でも自由に動けるレジャーランドであり、レストラン・ショッピング・クルージング・遊園地などが集中し、とっても賑わっていました。食事は、神戸だとやはり神戸牛と思い、皆さんでステーキ屋

さんに入り美味しく頂きました。こんなに贅沢しても良いのでしょうか？食事終えた後は、トイレ休憩し、次の目的地へ移動しました。クルージングです。

モザイク発着の大きな観光船（コンチェルト）に乗船し、明石大橋まで1時間30分のティークルージング（15：00～16：30）を楽しみました。乗船下船の場合は、男性の乗務員の方4人で介助して頂けます。団体の場合は、大きなスロープを準備して頂けます。トイレは入りづらいので乗船前に済ませておくとう安心できます。出迎へのフルーツ演奏と個室を用意して頂き、とても優雅な時間がとれ、大阪湾・関西空港・明石大橋・神戸市の端から端の街並み・六甲山を一望することが出来、感無量でした。つい震災の事を思い浮かべながら良く生まれ変わったなあ一凄く逞しく感じとれました。障害者や高齢者が被災を受けた時の状況や復帰迄の過程、今後のこと等をお伺いしたいものだなと思いました。コンチェルトを運営されている南部社長は、次の日のパネリストでもあられる方でお会いするのが、とても楽しみでした。今度神戸にきたらディナー・クルージングに乗ってみようかな。その時には、車椅子トイレが完備されていたら助かりますね。楽しみです。

下船後は、東京の中さん一行と合流し、鞍本さん親子にお会いでき、何故かホットした気分でした。皆さんで写真撮影をして、再び別行動をとりました。

ホテルのチェックインを済ませて、休む間もなく、夕食のため南京町へ向かいました。10分位の距離で到着、南京町は、良く整備されていて美味しい中華料理が食べられました。これも、ガイドヘルパーとしての野見さんのよきアドバイスがあったからこそですね。

食事後、ホテルへ直行し、20時～22時まで入浴介助として2人のヘルパー（男性）にお手伝いして頂きました。基本的な手順で安心して、入浴することが出来、疲れもとれ就寝することができ、長い一日が終了です。

入浴で気づいた点として、出入り口の間口が狭い事・洗体場所がない・手すりが少ない・非常ベルがない・洗面台が大きすぎる・タオルが高い位置にある・トイレの水が流しにくい等・・・シャワー椅子やボードを用意して頂いたことに関しては、感謝したいですね。いつも思うのですが、この部屋の設計に果たして重度の障害者が立ち会ったか疑問である。日本の建物・部屋は、壁やドアが大すぎたり、間口が非常に狭かったりする。尺とインチの違いもあるのか？本来ならバリアフリーの言葉が要らないオープンな設計・施行して頂きたいものですね。ホテルに限らず、公共施設・道路・公共交通機関・お店・公園・駅・バス停等など、都市計画にあたりユニバーサルデザインを上手く取り入れて頂きたいものですね。一番良い方法として、モデル区 or モデル町を造り、エリアを拡大していくと市民に対して一人でも多くの方達に浸透しやすいでしょう。セミナー回数を増やし、理解ある法人や学生や一般市民を増やしていく事ですね。リーダーがリーダーを育成し、ネットワークを拡大していく。

二日目は、セミナー開催地まで公共交通機関を利用して移動しました。地下鉄とポートライナーを乗り継いで、第一目的地の花鳥園へ向かいました。何故か、ホームと乗物に段差があるのに何時も何処でも憤りを感じています。何故、ホームの高さ・乗物の乗降口の

高さや間口が一定（全国的・全企業・全駅）に出来ないのでしょうか？法律や条例ができ人が変わり、初めてソフトとハードがひとつになり、ユニバーサルデザインが展開されることでしょうか。バスもタクシーも基準を一つに出来ないのでしょうか？ポートライナーでは、係員が簡易スロープでテキパキに介助して頂きました。

本日のパネリストであります加茂社長が経営する社会福祉性の高い都市型空間、花・鳥・魚・人が融合し、安らぎと癒しを提供している。まず、ここで関心した点は社長が福祉に非常に関心を持たれている事、来客用に車椅子をかなりの数、設置され、エレベーターも車椅子トイレも完備されている。扉以外は、すべてバリアフリーであったこと、頸損者にとっては、居心地がよい場所でしたね。気温が 26℃ほどで、中さんも言っていました。快適でした。花も鳥も魚もすべてが珍しいものばかりで、また訪れてみたい観光地であります。花に囲まれてのセミナー打合せと昼食は、まるで映画のロケ地を思わせるかの様に素晴らしいものでした。多くのお客さんで賑わっていました。フクロウや他の鳥を見た後は、セミナー会場へ。

ニチイ学館ポートアイランドセンター大会議室に於いて、「日本福祉のまちづくり学会関西支部第29回関西セミナー」が開催されました。まずは、基調講演としてNPO法人ウィズアス代表鞍本さんが行い、その後ユニバーサルガイド体験報告として、東京の中さんと大分の末永が行ないました。休憩後、パネルディスカッションが有難うございました。。パネリストとして、鞍本代表・花鳥園の加茂社長・神戸クルーザーの南部社長・兵庫頸髄損傷者連絡会事務局長の宮野さん、そして司会として、コーディネーターの相良教授が進行され、定刻の17:00を30分ほど経過し、短いながらも非常に実りのあるセミナーが開催されたことに対して、大変勉強になりました。欲を言えば、もう少し時間が欲しい気もしましたが、この心残りは、今回名刺交換させて頂いた方々と何らかの形で情報交換しながら、一緒にユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりを展開してゆきたいと思っています。個人的なハプニングがこの後に二つありましたが、詳細は控えさせて頂きま

す。

震災後に神戸市は生まれ変わった様に、皆が被害に遭って皆で助け合った。日本のボランティアも本格的に活動が始まったのも、この震災後であります。私も昨年、NPO法人を設立し、ボランティア活動しています。市民の思いが一つにあるかの様に、神戸市が全国のモデル的リーダー的存在として、位置づけしていただき頑張って貰いたいものです。

2日目の夕食は、ハーバーランドのモザイクで食べ、その後六甲山頂の展望台へ登りました。天候が良かったせいか最高のロケーションとなり、和歌山県・大阪府・兵庫県の神戸から東がとても眩いくらいに輝いていました。1000万ドルの夜景を脳裏に焼付いています。とても寒い夜でしたが、今回は山から海から陸から神戸市を眺めることが出来、最高の神戸旅行が出来ました。3日目は、もう一つ欲張って、生田神社へ参拝して帰路、大分へ直行しました。神社は、スロープと溝にグレーチングがあると良いでしょう。あと欲を言って、車椅子トイレ&車椅子駐車場があると、ゆっくりと参拝できる事でしょう。

誰でもトイレは、ネーミング的に優しい印象を与えて良いですね。ただ、モラルの悪い日本人がどういった使用方法をするかが問題です。ほんの一部の人達が常識離れの使用をするために、このトイレしか使えない人達が困っているのが実情です。優しさが反対に冷たい福祉社会を生み出していることもあります。車椅子駐車場もかなりモラルが悪い結果を齎しています。建物に近く、広く、使い易く、いつも空いている。誰でもが使い易い駐車場であるが、ここしか使えない車椅子の方にとっては、空いていないと非常に過酷なことでもあります。本当に必要な方（障害者・高齢者・妊婦さん・怪我人など）のことを考えることなく、自己中心でしか考えていない道徳に欠けている愚かな方が多いことに憤りを感じます。佐賀県が県下全域で進めているパーキングパーメットを導入すると良いかも知れません。私達も前向きに考えています。千葉県で条例が制定されました障害者差別禁止法も前向きに考えています。車椅子ステッカー・障害者運転ステッカーが市販で簡単に手に入ることも非常に問題なことです。悪用されているマナーの悪い方が多いことに対して怒りしか出ません。日本は、非常に病んでいます。

今回の神戸旅行で大変お世話いただいた関西セミナースタッフの皆様・神戸市役所・NPO法人ウィズアスの皆様・神戸学院大学の糟谷先生・コーディネーターの相良教授・パネリストの皆様、本当に有難うございました。

兵庫頸髄損傷者連絡会の宮野さんとは、今度大分で再会することを約束し、神戸をあとにしました。ユニバーサルデザインでまちが変わり、人が変わり、福祉が変わることを願っています。

以 上